

## 金融機関紹介



**株式会社 日本政策金融公庫  
青森支店 中小企業事業**  
中小企業事業統轄 上條信弥氏(写真左)  
融資課長 池添誠氏(右)

小坂工務店が経営者研修会に参加するきっかけを作ったのが日本政策金融公庫青森支店である。同支店は50歳までの経営者（次世代含む）による「青話会」を形成し、定期的に勉強会を開催している。ITコーディネータ澤田氏からIT経営応援隊の主旨を聞き、「単なる電算化ではなく、経営全体を捉えてその中でITを活用するという内容が政策金融機関としての支援方針に合っており、千載一遇のチャンスだと思いました。また、澤田さんの熱意に心が動いた面もあります」と中小企業事業統轄の上條信弥氏は振り返る。

次の世代の経営者を育成することは優良な取引先の拡大につながる。IT化によって経営数値が明確になったり従業員間の情報共有が進むことが期待できるという。融資課長の池添誠氏は、「デフレ傾向で売上が伸びないなか、地域全体の底上げが必要になっています。自社の経営状況を把握できない企業は置いていかれる事態になりかねません。IT経営応援隊の研修会のような内容は今後も案内していきたい」と、より一層の地域支援へ決意を語った。

## 支援機関紹介



**財団法人  
21あおり産業総合支援センター**  
産業振興部 主事 太田朗史氏(写真左)  
地域力連携拠点事業 応援コーディネーター  
山本進氏(右)  
<http://www.21aomori.or.jp/>

経営者研修会の後、IT経営成熟度診断、さらに専門家派遣事業という二つの事業で小坂工務店の工事進行基準システムの構築をサポートしたのが、財団法人21あおり産業総合支援センターである。同センターは平成21年度地域力連携拠点事業の実施機関にもなっており、応援コーディネーターの山本進氏が企業の個別相談を入口に、適切な支援メニューを案内している。

小坂社長は、「新しい取り組みには何かと障害があるものです。それをくじけずに引っ張ってくれるのは公的機関の支援ならではだと思います。非常にありがたい制度です」と話している。

## サポーター紹介



**ITコーディネータ**  
澤田徳寿氏  
ITCあおり  
<http://www.7-dj.com/itc-aomori/>

青森県内企業のIT経営推進に向け、関係機関に積極的に働きかけて地域連携の基盤作りを行っているITコーディネータ。今回は、ソフトアカデミーあおり、日本政策金融公庫青森支店、21あおり産業総合支援センターそれぞれの連携により、小坂社長の信頼を得て、段階を踏んだサポートを実現した。

小坂工務店のIT活用は社長主導で進んでいたが、今回はボトムアップを目指し、あえて社長が同席せず、従業員が自ら意見を出して進めるようにした。小坂社長は上がってきた案をチェックする役割に専念。「我々はITの素人ですから、やりたいことがあっても『こうしたい方がよい』という解決策が出てこないこともありました。意見をうまく引き出してもらい、システム導入の先生役にもなってもらいました」と感想を話す。工事進行基準システムを通じて、従業員の力をさらに伸ばせたことも支援の大きな成果だ。



文書管理システムの様子



ホームページでも積極的に情報発信。基地局の建設を機に始めた携帯電話ショッップは、表彰を受けるほどの好実績を上げている。

点事業）、東北IT経営応援隊の訪問コンサルティング事業、同財団の専門家派遣事業などを用いてITコーディネータ・澤田徳寿氏のサポートを受けた。「トップダウンでIT化を進めてきたためある種のマンネリ感もあり、客観的な診断が受けられるのは良い」と考えたからだそう。

新たに工事進行基準システムの構築を考えていたので、タイミングもピッタリだった。

このシステムの狙いは、長期にわたる工事の進行状況と予算を現状把握すること。「3年かかる工事の収支が3年後にわかるのではなく、毎月棚卸しをして月次決算をしたい」という小坂社長は、今後建設業界ではこの考え方が主流になると見ている。いち早い導入で金融機関からの信用がさらに上がる」と期待している。

新システム構築にあたっては従業員がチームを形成。澤田氏の進



代表取締役 小坂仁志氏

## 会社概要

### 株式会社小坂工務店

青森県三沢市南町4-31-3469

設立：1958年

従業員数：39名

事業内容：総合建設業、不動産仲介・販売・賃貸業、携帯電話販売業

<http://www.kosakagc.co.jp/>



同社は従業員の約半数が女性である

「経営を引き継ぐ前に業務内容を把握しようと文書チェックを始めたのがきっかけです。その際、スキャナーでデータ化し分類整理するのが一番効率的でした。中小企業は誰か一人がいなくなると業務が止まる場合がありますが、データ化された業務書類はすぐ取り出せるので若手の教材としても利用でき、業務の継続に役立ちます」

業界内でも先進的なIT活用をしている小坂工務店だが、2008年に日本政策金融公庫青森支店中小企業事業の勧めでソフトアカデミーあおりが開催したIT経営応援隊の経営者研修会に足を運んだ。その後、財団法人21あおり産業総合支援センター主催のIT経営成熟度診断（地域力連携拠

「感謝の心」は青森県三沢市・小坂工務店の基本理念だ。「100年続く会社には必ず感謝というキーワードがあります。お客様を大切にし、従業員間も『ありがとう』と言える関係。これをベースに事業を継続し、三代目経営者を生むことが私の仕事です」

業務内容は多岐にわたる。総合建設業を中核としつつ、賃貸物件仲介「アパマンショッップ」や携帯電話ショッップの運営など、関連領域の事業を地元密着で広げている。建築後のフォロー体制やマンシヨン管理が評価されてリピート発注があつたり、携帯電話ショッップで磨かれた接客力が社内建設部門にも波及するなど、相乗効果をもたらしているという。

## 業務別に文書を整理 データ化で素早い参照

## 事例 ITを使いこなす②

# ITの活用は事業継続につながる！ 工事進行基準システムで月次決算体制へ

